

各 位

皆さまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナの関係では様々なご苦労があることと思いますが、来年の今ころには「去年の夏前は大変な騒ぎだったよね」と笑い話ができるように、今はみんなで頑張りましょう。

さて、わたくし中能が勤務していました、日野社会教育センターでは、1993年よりデンマークに学ぶ研修を連続25年間行い、参加者は延べ508名様となりました。これもひとえに皆様方のご協力によるものと心より感謝しています。そして何よりも、現地在住の澤渡夏代ブラントさんのコーディネーターによる研修は、他に例を見ないほど充実していて、参加された皆様の心の中にしっかりと刻まれています。

本日は、デンマーク研修でお世話になりました澤渡さんが、ご友人の、小島ブンゴード孝子さんとの共著で『デンマークの女性が輝いているわけ』という本を6月下旬に出版される予定との連絡が入りました。

そこで、皆様にも是非、手に取っていただきたく、お願いの連絡をさせていただきました。注文先は、中能が承りますのでどうぞよろしく願いいたします。(代金は後日振り込みでも大丈夫です。)

本の名前：『デンマークの女性が輝いているわけ』

定価：1,800円プラス税で 計：1,980円です。

チラシなどは（検索 公益財団法人社会教育協会 のホームページにも掲載してあります）

<取り扱いどころ>

*お名前：桐野昌三

*e-mail：kirino@k-freedom.jp

*電話：090-9209-9597

*FAX：03-9802-7818

*住所：〒182-0012 東京都調布市深大寺東町3-18-7

(澤渡夏代ブラントさんから届いた出版の趣旨)

そもそも今回の執筆の動機は、6年前、安倍首相が、日本国内成長の最大潜在力として「女性の力」を活用し、「女性の輝く社会」の構築をめざす、と宣言したことにあります。私は、その宣言に対して社会システム、男性の意識&働き方などが、日本はまだ道半ばなのに首相はどんな魔法を使って「女性が輝く」社会とやらを構築していくつもりなのか、と大きな疑問を抱きました。

幼児保育無償化とか、金銭で解決するのではなく、保育所と保育士の確保/増設が働きたい女性にとって一番望むことだと思います。

一方、デンマーク社会の女性たちは仕事と家庭を両立させながら自分の仕事に誇りをもち、何か「いきいき」した顔をしています。。。。。

中能曰く、それはなぜでしょうか、これから先は、どうぞ直接本を手にしていただき、ご一読をお願いできればと思います。本来ですと、出版を機会に澤渡さんにご帰国いただき、フォーラムでも開いてと考えていましたが、今のような状況で飛行機も飛んでおらず、その願いは叶いません。

コロナ騒ぎでも収まった暁には、澤渡さんのご帰国に合わせて、交流会でも開けたらとも考えていますが、皆様には一足先に本を手にとっていただき、是非ともご一読いただきますよう重ねてお願いいたします。

2020年6月12日

日野社会教育センター元館長

中能孝則

「デンマークの女性が輝いているわけ」の注文

注文数 冊 お名前 ()
電話番号：